

2025年8月期 中間決算短信（非連結）

2025年4月15日

会社名 日本ジッコウ株式会社 本社所在都道府県 兵庫県  
 本社所在地 兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号  
 問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役  
 氏名 西村 圭三 TEL (078) 974-1388

1. 2025年8月期中間期の業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

- (注) 1. 本中間期決算短信の数値は、未監査です。  
 2. 本中間期決算短信の数値は、所要の会計上の修正を行っていません。  
 3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年中間期	2,648	(3.6)	29	(12.8)	50	(3.0)
2024年中間期	2,556	(△20.0)	26	(△78.5)	49	(△65.2)

	中間純利益		1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%
2025年中間期	47	(52.2)	238	55	—	5.4	1.9	1.9
2024年中間期	30	(△69.5)	156	76	—	3.8	2.0	1.9

- (注) 1. 期中平均株式数 2025年中間期 197,500株 2024年中間期 197,500株  
 2. 会計処理の方法の変更 有・無  
 3. 売上高、営業利益、経常利益、中間純利益におけるパーセント表示は、対前年同中間期増減率です。  
 4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
2025年中間期	2,656	888	888	33.4	4,499	04	
2024年中間期	2,479	834	834	33.7	4,225	31	

- (注) 期末発行済株式数（自己株式を含む） 2025年中間期 241,900株 2024年中間期 241,900株

2. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
通期	百万円 5,000	百万円 70	百万円 50	—	—	—	—	—

（注）1. 1株当たり予想当期純利益（通期） 253円16銭

2. 当社は中間決算を行っておりませんので中間期の業績及び配当金予想は記載しておりません。
3. 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

## 第51期 中間決算報告書

(2024年9月1日から2025年2月28日まで)

会社名(定款上の商号)	日本ジッコウ株式会社
英文名(英文商号)	NIPPON JIKKOU CO., LTD
代表者の役職氏名	代表取締役社長 佐藤 匡良
本店の所在の場所	兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号
電話番号	078-974-1388
連絡者	常務取締役 西村 圭三

## I 中間期の業績

## (1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2023年9月1日 至 2024年2月29日	自 2024年9月1日 至 2025年2月28日
I 売 上 高		2,556,808	2,648,069
II 売 上 原 価		1,762,656	1,855,815
売上総利益		794,152	792,253
III 販売費及び一般管理費		768,077	762,840
営業利益		26,075	29,413
IV 営業外収益		31,362	25,004
V 営業外費用		8,322	3,806
経常利益		49,115	50,610
VI 特別利益		-	1,499
VII 特別損失		-	-
税引前中間純利益		49,115	52,110
法人税、住民税及び事業税		18,154	4,995
中間純利益		30,961	47,115

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2023年9月1日 至 2024年2月29日	自 2024年9月1日 至 2025年2月28日
期中平均株式数		197,500株	197,500株
1株当たり中間純利益		156円76銭	238円55銭
潜在株式調整後1株当たり 中間純利益		—	—

※潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

## (2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2023年9月1日 至 2024年2月29日	自 2024年9月1日 至 2025年2月28日
工 事 関 連		1,315,861	1,317,521
建設材料販売関連		968,844	1,079,594
混 和 剤 関 連		246,249	231,023
食 品 事 業 関 連		25,852	19,930
合 計		2,556,808	2,648,069

## (3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前事業年度 (2024年8月31日現在)	当中間会計期間 (2025年2月28日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	253,622	342,402
2. 受取手形	222	471
3. 電子記録債権	289,892	145,260
4. 売掛金	932,747	985,775
5. 商品	164,020	152,395
6. 前払費用	9,844	9,844
7. 短期貸付金	8,517	-
8. その他流動資産	9,811	1,562
9. 貸倒引当金	△6,192	△6,192
流動資産合計	1,662,486	1,631,519
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	194,860	187,889
(2) 構築物	879	772
(3) 工具器具備品	9,047	7,894
(4) 土地	376,738	376,738
(5) リース資産	36,487	32,364
有形固定資産合計	618,013	605,658
2. 無形固定資産		
(1) 電話加入権	0	0
(2) ソフトウェア	5,405	9,397
(3) リース資産	4,420	3,740
無形固定資産合計	9,825	13,137
3. 投資その他の資産		
(1) 関係会社株式	85,000	85,000
(2) 投資有価証券	77,091	77,091
(3) 事業保険積立金	140,942	142,183
(4) 長期前払費用	31,895	35,017
(5) 敷金・差入保証金	65,240	65,285
(6) 会員権	1,350	1,350
(7) その他投資等	294	390
投資その他の資産合計	401,814	406,318
固定資産合計	1,029,653	1,025,114
繰延資産		
(1) その他繰延資産	166	116
繰延資産合計	166	116
資産合計	2,692,307	2,656,750

(単位：千円)

科 目	期 別	前事業年度 (2024年8月31日現在)	当中間会計期間 (2025年2月28日現在)
		金 額	金 額
(負債の部)			
I	流動負債		
	1. 支 払 手 形	123,599	102,218
	2. 電 子 記 録 債 務	436,522	240,659
	3. 買 掛 金	144,021	159,253
	4. 短 期 借 入 金	-	102,481
	5. 1 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	104,952	95,976
	6. 未 払 金	20,200	11,745
	7. 工 事 未 払 金	135,359	228,869
	8. 未 払 法 人 税 等	1,652	4,995
	9. 未 払 消 費 税 等	31,065	22,515
	10. 未 払 費 用	78,869	42,711
	11. 前 受 金	-	20,390
	12. 預 り 金	5,213	5,322
	13. 賞 与 引 当 金	-	30,000
	流 動 負 債 合 計	1,081,456	1,067,138
II	固定負債		
	1. 社 債	200,000	200,000
	2. 長 期 借 入 金	300,173	249,907
	3. 退 職 給 付 引 当 金	28,808	28,808
	4. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	121,742	121,742
	5. ク レ ー ム 引 当 金	41,851	39,360
	6. 長 期 未 払 費 用	1,020	582
	7. 預 り 保 証 金	20,990	20,990
	8. リ ー ス 債 務	44,944	39,660
	固 定 負 債 合 計	759,529	701,051
	負 債 合 計	1,840,986	1,768,189
(純資産の部)			
I	株主資本		
	1. 資 本 金	98,000	98,000
	2. 資 本 剰 余 金		
	(1) 資 本 準 備 金	54,128	54,128
	資 本 剰 余 金 合 計	54,128	54,128
	3. 利 益 剰 余 金		
	(1) 利 益 準 備 金	8,679	9,666
	(2) そ の 他 利 益 剰 余 金		
	特 別 償 却 準 備 金	1,012	1,012
	繰 越 利 益 剰 余 金	809,380	845,632
	利 益 剰 余 金 合 計	819,071	856,312
	4. 自 己 株 式	△119,880	△119,880
	株 主 資 本 合 計	851,320	888,561
	純 資 産 合 計	851,320	888,561
	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,692,307	2,656,750

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

項目	期別	前事業年度 (2024年8月31日現在)	当中間会計期間 (2025年2月28日現在)
	発行済株式総数		241,900株
期末自己株式数		44,400株	44,400株
1株当たり純資産額		4,310円48銭	4,499円04銭

(4) 株主資本等変動計算書

当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

(単位: 千円)

項目	株主資本						株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			自己株式		
		資本 準備金	利益 準備金	その他 利益剰余金				
				特別償却 準備金	繰越利益 剰余金			
2024年9月1日残高	98,000	54,128	8,679	1,012	809,380	△119,880	851,320	851,320
当中間変動額								
剰余金の配当			987		△10,862		△9,875	△9,875
中間純利益					47,115		47,115	47,115
当中間変動額合計	—	—	987	—	36,252	—	37,240	37,240
2025年2月28日残高	98,000	54,128	9,666	1,012	845,632	△119,880	888,561	888,561

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

中間期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「事業報告書 注記表」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 中間期の減価償却費は年間発生見積額の2分の1に該当する金額を計上しております。有形固定資産に関しては貸借対照表上、簿価を直接減額する直接控除方式を採用しております。
2. 貸倒引当金の計上基準 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能額を計上しております。その他一般債権については前期末と同額を計上しております。
3. 経過勘定項目の会計処理 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、中間期報告書上、資産及び負債への計上を省略しております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。



## II 第51期中間期（2024年9月1日～2025年2月28日）の業績の概況

当中間期における日本経済は、雇用環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかながらも回復基調が続いたものの、円安・物価上昇の影響もあり、実質賃金は引き続き伸び悩み、企業収益の確保が難しくなっています。建設業界におきましては、建設資材の高騰や人手不足による人的コストの上昇などにより、採算性が低下しており倒産も多発しています。更に長期的には人口減少による市場の縮小も懸念されており、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが専門とするコンクリートの補改修市場については、老朽化する社会インフラへの関心が急速に高まる中、上・下水道管の老朽化対策のための各種工事が継続して行われている一方、受注競争が激化しており、厳しい経営環境が続いております。

当中間期に関しましては、公共水施設関連の防食工事に加え、ジックボード工法を主とした管路分野の補修工事に注力しました結果、売上高は防食工事関連で1,317,521千円（前年同期比0.1%増）となりました。建設材料販売関連は、特販商材の受注増加等を背景に自社製品は順調に出荷量を伸ばすことができました結果、売上高は1,079,594千円（前年同期比11.4%増）となりました。混和剤部門につきましては、工事量の減少に伴いコンクリート出荷量が伸び悩み、売上高は231,023千円（前年同期比6.2%減）となりました。

一方、食品事業関連の売上高は19,930千円（前年同期比22.9%減）となり、集客の増加及び収益率の改善が今後の課題となっております。

以上の結果、当中間期は、売上高2,648,069千円（前年同期比3.6%増）、営業利益29,413千円（前年同期比12.8%増）、経常利益50,610千円（前年同期比3.0%増）、中間期純利益47,115千円（前年同期比52.2%増）となりました。

## III 第51期（2024年9月1日～2025年8月31日）の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第50期(実績)	第51期(計画)
		自 2023年 9月 1日 至 2024年 8月 31日	自 2024年 9月 1日 至 2025年 8月 31日
売 上 高		4,849,261	5,000,000
経 常 利 益		67,846	70,000
当 期 純 利 益		47,782	50,000

#### IV 資金及び借入金の状況

##### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

項 目	期 別
	当中間会計期間 自:2024年9月1日 至:2025年2月28日
現金及び預金の増減額	88,780
現金及び預金の中間期首残高	253,622
現金及び預金の中間期末残高	342,402

(主な増減理由) 営業キャッシュ・フローの増加によるものであります。

##### (2) 長期借入金の増減

(単位：千円)

項 目	期 別
	当中間会計期間 自:2024年9月1日 至:2025年2月28日
長期借入金の増減額	△59,242
長期借入金の中間期首残高	405,125
長期借入金の中間期末残高	345,883

(主な増減理由) 借入金の返済によるものであります。

(注) 長期借入金は、1年内返済予定長期借入金を含んでおります。

#### V その他

該当事項はありません。